



茜の空

令和8年度 第1号
発行日 4月9日(木)
練馬区立石神井南中学校
校長 木原 賢三

令和8年度を迎えるにあたり

校長 木原 賢三

正門の桜も花開き、春の息吹を感じる季節、112名の新1年生を迎え、全校335名の生徒とともに令和8年度がスタートしました。緊張の中、新しい学校生活への期待と希望にあふれ、まっすぐなまなざしを向ける新1年生、そして、誇れる上級生と一歩を踏み出した2、3年生。新しい学年で夢や目標に向かってスタートした生徒たちが、「自分らしさとは何か」「自分とはどのような人間なのか」自分探しに取り組み、自分の生き方を自己決定できるよう、新たな気持ちで教職員一同、力を合わせて地域の宝である子どもたちの育成に努めてまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、北原白秋さんの「ひとつのことば」という詩の中で「一つの言葉はそれぞれに 一つの心をもっている きれいな言葉はきれいな心 優しい言葉は優しい心 一つの言葉を大切に 一つの言葉を美しく」という一節があります。言葉にはとても大きな力があり、同じ言葉であっても言葉の使う場面や言い方によって、また、聞き手の心持ちによって、受け取り方によって印象が全く異なってしまふことがあります。生徒たちは、学校という社会の中で、学校の友人や先生方と多くのことを言葉で語り合いながら生活しています。そして、何気ない一言で喜んだり、悲しんだりしています。言葉は人と人の関わりの中でより育成されるものです。また、人と人との関わりの中で豊かさを表す言葉は、さらなる豊かさを生み、感謝の気持ちを表す言葉は、さらなる感謝を生み、喜びを表す言葉は、さらなる喜びを生みます。まさに、「言葉は心」なのです。語り合う言葉を全校生徒一人一人が意識して生活できれば、全ての生徒が、優しさと思いやりの気持ちにあふれた学校生活が送れるようになり、言葉によるトラブルや誤解、そして、言葉によって傷つく人は少なくなると思います。「きれいな言葉」「優しい言葉」「勇気づけられる言葉」があふれる1年間にしてほしいと願っています。

生徒たちにとって中学校生活3年間は、それぞれの生き方の基礎を築く貴重な時期となります。授業だけでなく、部活動、生徒会活動等を通して、学友とともに学びあい、励ましあい、支えあってそれぞれの目標に向かって精一杯チャレンジし、心身ともに大きな成長ができるよう支えていきます。

さて、保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。生徒たちは新しい春の訪れとともに、新たに新しい学年への期待感、引き締まった緊張感がみなぎっているように思えます。生徒の皆さんが「石神井南中学校プライド」をもち、自信と誇りをもって中学校生活をおくることができるよう、積み上げてきた本校の素晴らしい教育活動を継承するとともに、全力を尽くして更なる教育の推進を目指してまいります。

《 教 育 目 標 》

〈多様性の時代に、主体性と寛容性を併せもち、他者と力を合わせてより良い社会を創る人〉

(1) 自分と他者を共に認める人 (2) 自ら学び、社会で生かせる人 (3) 自他の健康を考え、実践する人

教育目標の達成を目指し、生徒たちにとって、そして学校にとって大きな成果が上がるように様々な教育活動を実践して参ります。その中で、生徒一人ひとりの自己有用感を高めることにより、個々の自立と社会の一員としての自覚を深めさせていきます。また、生徒には「思いやりの心」をもち、「自らすすんで学ぶ姿勢」と「自立する姿勢」を育てまいります。価値観の多様化や多様性がすすむ変化の激しい社会の中で、他者の気持ちになって気遣いができ、他者の意見や考えを尊重し、寄り添える人、自らすすんで考え、行動し、地域社会において活躍できる自立した人に成長してほしいという願いからです。主役である生徒たちが石神井南中生でよかったと実感できるよう、より一層保護者・地域の皆様から信頼される学校にまいります。生徒たちの健やかな成長は、家庭と地域と学校が一体となって見守っていき、それぞれが責任を果たし、互いが協力・連携を図りながら育むことで実現できると思います。本年度も保護者の皆さまのご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。